

別紙 1-2 (様式第 1 号・様式第 5 号添付用)

提案型協働事業計画書 (活動支援交付金)

団 体 名	設立年月日	2009・7・7	団体の構成人数	22名
	朴の会			
1 事業の名称及び実施期間	名称：不登校について小中学校の先生方とともに考える連続講座 期間：2015年4月1日から2015年12月20日			
2 該当する町の施策方針	「22のめざすべきまちの姿」 ・子どもたちが楽しく学校生活を送っているまち 「61の施策方針」 ・学校教育を充実する ・健全な心と体の育成を進める			
3 解決へ向けて取り組む地域課題	不登校・ひきこもり当事者と家族を支援する。当事者の心に寄り添い復学や社会復帰を応援する。			
4 協働対象部署	学校教育課			
5 事業の内容等	(1) 日本福祉大学准教授・野尻紀恵氏：スクールソーシャルワーカーの「不登校を考える」連続講座3回を予定。 ・講座回数： 3回 ・実施時期：夏休み中 (7月下旬・8月上旬・8月下旬) 午後13時30分から16時程度とする。 具体的日程は調整中 ・1回の講座時間は2時間半程度とする (講師からのレクチャーを1時間、事例検討とエコマップのグループ討議を1時間、まとめを30分) *1回目 不登校の構造を知る (子どもの問題のとらえ方について) *2回目 不登校とは何なのか (事例の中から子どもの真の姿を知る) *3回目 不登校支援の方法を考える (実践の中で如何したらいいか) (2) 町内の公共施設 (ゆめたろうプラザ情報考房、練習室または響きホール) (3) 町内の小中学校の先生方で、不登校児の担任の先生や問題解決のために協力されている保健室の先生・スクールカウンセラーの先生又は、この問題に関心をもっておられる先生方と日本福祉大学の野尻ゼミの学生			
(1) 事業内容と方法				
(2) 実施場所				
(3) 対象者 (人数等具体的に)				
(4) 事業PRの方法				
(5) その他				

	<p>と朴の会メンバー。 参加人数は参加希望者と学校の都合に応じて対応する。希望として先生30名・学生10名・朴の会10名。 (4) 講座内容を理解していただくため、チラシとリーフレットを作成。 チラシは講座内容と講師の略歴書を添付にしたもの。 チラシ・リーフレット枚数は希望としては、どちらも150枚・2種類用意する。 (5) 校長会にて講座の案内を行い、可能な限り多くの先生方への受講をお願いします。</p>
6 事業実施により期待される効果	<p>1・専門講師の話を聞くことで「不登校について」今までの考えていた視点からだけでなく、新しい視点から考えることが出来る機会が得られる。 2・不登校という課題で先生方と一緒に考えられる機会が得られ、解決の糸口が見いだせることにつながる。 3・教育の現場で役立てていただける。 4・「朴の会」の活動内容を先生方に知っていただける機会にもなる。</p>
7 事業の特徴	<p>1・連続講座を受講することで、先生方と不登校について共有する場ができる。 2・それぞれの立場での考え方をすることで、今後の問題解決の糸口が見つかると思う。</p>
8 今後の事業ビジョン	<p>1・スケジュールが合わず受講できない先生方や学生方のため、また多くの先生方に共通認識していただくためにも、連続講座を継続していく。 2・今年度の講座に対する受講者の声や反応を見て2年目以降の講座内容を計画する。</p>
9 その他	

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。